

熟練の職人技 と迫力を体感



工業に関する興味を高めることを目的に、関鍛冶伝承館で関商工高校生徒が、市に700年以上続く日本刀の伝統製造法「古式日本刀鍛錬」で刀匠の技を見学しました。刀匠が交代で鍛錬していく作業を熱

心に見つめ、この技法が現在のさまざまな工業製品に生かされていることを学びました。鍛錬を体験した生徒は、リズムを合わせて大鎚おおつちを振り下ろす作業の難しさを改めて体感しました。

あんな事、こんな事



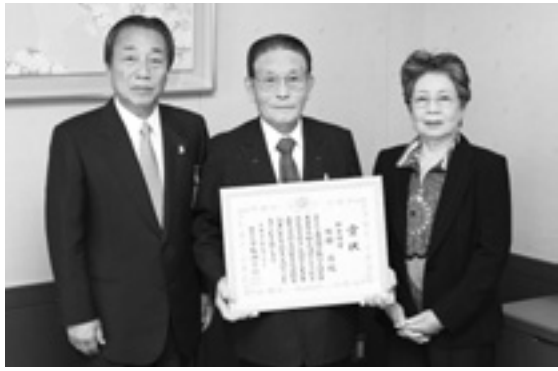
地下道落書き許しません

弥生町の地下道で、壁面の落書きを消す作業があり、関高校生徒らがボランティアでペンキ塗りなどをしました。「通学路としている桜ヶ丘小児童が不安がって使えなくなるとはいけない、このような行為は断じて許すまい」との強い思いから40人が参加。はけやローラーを使って丁寧に塗って落書きを消し、併せて周辺も清掃。全員で再発防止を願いました。

小学校って楽しいよ

安桜小学校で、2年生児童と校区内の4つの幼稚園・保育園の年長園児との楽しい交流会がありました。年下の園児との関わりで、自分の成長を見つめ相手の立場を思いやる心を育もうと開催。また、小学校に対する不安をなくし、夢を持って入学してもらおうと園児を招待しました。もぐらたたき、ぶんぶんゴマなどの遊びができる18の店を園児は次々にのぞいて、さまざまなコーナーを満喫しました。





とくりんか 洞戸の篤林家ここにあり

全国林業改良普及協会が優れた林業経営者などに贈る林野庁長官表彰を、洞戸栗原の野村悟さんが受賞しました。林業一筋 66 年の野村さんは、木材生産のほか、広大な人工林を常に見回り、枝打ちなどの作業をしています。森林所有者に技術を指導し担い手育成にも努められ、地域の林業振興に多大な貢献をされています。「川上・川下が一体となって山を守っていくことが大切」と話していました。

モンゴルの家庭料理で交流

外国の料理を市民が体験し、国際交流する恒例の「世界の料理交流会」が開かれ、モンゴル料理作りを実習しました。講師に中部学院大学留学生の2人を招いて、牛肉を使った汁うどんなどモンゴルの手軽な家庭料理の手ほどきを受けました。麺を蒸して使ったり、塩だけで味付けしたりと日本とはひと味違った方法を知り、参加者は新しい発見に感心していました。



「膝つき床拭き」が全校に定着

優れた教育実践に取り組む県内の小中学校をたたえる「2010 年度岐阜県優秀校」を金竜小学校が受賞しました。清掃、あいさつ、ボランティア、エコ活動の頭文字からつけた「思いやり活動SAVE（セイブ）」を実践。児童たちが4つの活動を通して自立と共生の力を育てています。児童が活躍できる場を提供する地域の機運も高く、今後も地域ぐるみで子どもが誇りに思える学校づくりに努めます。

多彩な「ミナモ」の表情

関市での国体開催に向けて、市民一人一人が理解を深め、市民総参加で実りある大会の実現を目指して、競技別ポスターコンクール作品を募集しました。300 点近くもの応募があり、審査の結果、各部門・競技別の入選作品が決定しました。その表彰作品（最優秀作品 31 点、優秀作品 6 点）や応募作品の一部が市役所で展示されました。今後、市内公共施設を巡回して展示する予定です。



こぼれ話



「明日を創る関のまち」というケーブルテレビの番組をご存じですか。市では、毎月1回更新で関市を紹介する15分間の情報番組を毎日放送しています。ケーブルテレビが見られない方は関市ホームページを、インターネットをされない方は市役所アトリウムへお越しください。バックナンバーを見ることができます。過去には、観光施設やイベント、団体の取り組みなどを紹介してきました。この番組を制作するにあたり、テーマを何にしようかと毎回頭を悩ませて

います。先日は「広報課」自体を紹介しようかという手前みそな案も出ました。今後もさまざまな視点で関市のよいところを紹介していけたらと思います。

「この番組、何人くらいの市民が見とるやろうな」という上司の言葉に、毎回ドキッとしています。見ておもしろいと言ってもらえる広報番組（もちろん広報紙も）づくりを目指し、今年も新たな発見と出会いを求めて、市内に繰り出したいと思っています。広報は市民の皆さんの協力で成り立ちます。身近な情報をどんどんお寄せくださるようお願いいたします。